

四万十市立具同小学校 1年1組 生活科学習指導案
単元名「きせつはっけんまん ～きせつのすてきをしょうかいしよう～」

平成29年11月28日

指導者：竹又 実佳

1 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」と内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに関心、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を主な内容として単元を構成する。

本校の周りには、トンボ公園をはじめ赤鉄橋下の河川敷や5つの公園があり、豊かな自然環境に恵まれている。また、児童の通学路には田んぼや畑があり、タニシやカマキリの卵、オタマジャクシなどを見ることができ、日常生活の中にも自然がいっぱいあふれている。そんな環境のもと、児童は1年を通して身近な自然に触れ、体全体で自然に溶け込んで遊び、四季折々に変わる自然の景色の変化に対して多くの事に気付いたり発見したりの連続である。その関心や発見を他者と伝え合い交流することで、また新たな関心や発見へと質を高めていく。更には、それぞれの季節の違いや良さを自分自身の生活に取り入れながら、よりよい生活を送ろうとする心情を育むことにつなげたいと考える。

本単元では、「校区探検」を一連の学習活動として位置付け、1年間を通して季節の変化に関心していく。児童は四季を通して校区探検を行い、「活動」と「表現」を繰り返し行っていく。体験で得た関心や発見を他者と交流し合うことで、関心の質を高めていく。四季の変化に関心したことを、イメージマップや成果物「きせついっぱい」に表し可視化することで、季節ごとの比較もしやすく意欲的な学びにつながると考えた。季節の変化に関心した児童は、自然や地域の素晴らしさを感じ取りながら育っていかよう。

この単元での学習は、後の「つくろう あそぼう」の単元へと繋がりを持つ。児童が好む遊びの中に、主として自然の事物を使ったり自然の現象を利用したりする遊びや、不要になった物などを使った遊びなど様々な遊びが考えられる。また、生活科の活動から得たことを題材にして、図工や音楽等他教科との関連も深めていきたい。児童の今までの体験知を取り上げ、地域材と結び付けながら興味関心を高めて行くことで、進んで自然に関わり、「こんなことができるよ。」「こんなの見つけたよ。」「どうしてだろう。」「もっと知りたくなってきたな。」など他者との関わりを大切にしながら、「伝えたい」「教えたい」「調べたい」「もう一回行きたい」という児童の思いや願いを大切にしながら、主体的、対話的な学習を進めていけるよう単元の繋がり大切にしていきたい。

(2) 児童について

児童は、これまでに「春の校区探検」「夏の校区探検」をしてきた。季節ごとの校区探検を通して自然の様子や変化に関心している。探検を繰り返して行く中で、児童は学校周辺の道中や5つの公園にはそれぞれの良さや違いがあることに関心しながら、思い思いに季節を楽しんできている。児童の関心はさまざまで、「生き物」「葉っぱ」「木」「花」「空気」「風」等、五感を存分に働かせて関心の質を高めている。

例えば、春には、道端に咲いている季節の鮮やかな草花、生き物に目を向け、「あっ、ピンクの花がいっぱいだね。」「つばめの巣があるよ。」「おたまじゃくしがいっぱいだね。」という関心を紹介し合ってきた。また、「この木の下はさわやかだね。」「葉っぱゆれてるよ。」「鳥がいるよ。」「前に来た時よりきれいになってるよ。」「また来たいね。」などそれぞれに思いや願いを持ちながら新たな関心を生み出してきた。

また、夏には、「あの木はどうなっているのかな。」「花は咲いているのかな。」「鳥の巣はどうなっ

ているかな。」等、春の校区探検を振り返ることで「夏の公園に早く行ってみたい。」「どこが変わっているのかな。」という興味関心を持ち学習活動を行ってきた。実際に行ってみると、「あ、草が増えているよ。」「おたまじゃくしはいないね。」「かえるも減ったね。」「木に葉っぱが増えているよ。」「木の下が涼しいね。」「喉がからからだよ。」「前来た時より暑いね。」など、春の気付きと比べることで季節の変化に目を向けることができた。また、偶然にも公園の清掃活動をしている方々に出会ったことで、「おじさん達が綺麗にしてくれていたんだね。」「汗びっしょりで草を刈ってくれているね。」と公共施設を大切に安全に気をつけて正しく利用しよう、皆で使う物や場所、それらを支えてくれている人々がいることにも気付いてきている。

そして、本単元である「秋の校区探検」で、児童は、春や夏の校区探検の時とは違った自然の様子に目を向け、きっと思い思いの表現をすると同時に、秋の素敵な「人・もの・こと」に気付き、様々な発見をするだろう。普段何気なく生活している自身の回りの環境に、今まで以上に興味関心を持ち、「なぜだろう。」「知りたいな。」「確かめたいな。」と次々気付きの質を高めていくに違いない。直接体験を通して季節の変化を実感的に捉え、友達と積極的に伝え合い、友達の気付きから、更なる自分自身の気付きを広げていく姿が浮かんでくる。

(3) 指導について

以下の学びを通して、児童が自分の考えや思いを自然に伝え合うことができたり、友達と仲良く活動し交流し合うことを楽しんだりしながら気付きの質を高めていきたい。

①一連の学習活動とする

春・夏・秋・冬と四季を通じて季節の変化に気付くことができるように、探検に出かける前のイメージマップを作成し、思い思いのイメージを出させることで、自分なりに目的意識を持って活動できるようにした。探検後には、探検しての気付きをイメージマップに付け加えるという学習を繰り返して行い、気付きの質を高めることをねらいとした。また、探検で感じ取ったそれぞれの気付きを画用紙に描き、「春いっぱい」「夏いっぱい」「秋いっぱい」と題した、季節ごとの成果物として学級に掲示し振り返りに活用していく。

②公園までの道中を楽しむ

公園までの道中には、気付きの質を高めるための学習の場、地域材にあふれている。児童は、登下校時には、季節の草花や生き物を持っては、目を輝かせて教室に入ってくる。「どこで見つけたの。」「これはね〇〇にあったよ。」「皆で行こうよ。」と対話が生まれる。そこで、児童の気付きのポイントとなっている道中にも目を向け、探検中の児童のつぶやきも大事にしながら公園までの道中も季節の変化を楽しませたい。友達と仲良く活動していく中で、それぞれに気付くところに違いがあって、感じ方の違いにも気付かせながらものの見方、考え方を広げてきた。今後、更に、その見方や考え方を生かして、質の高い気付きにしていく。

③表現活動を意識する

体験したことを友達に伝えやすくするために、事前事後ともにワークシートを活用してきた。ワークシートには個々の気付きの変化がわかり、次の探検が意欲的な活動になるような工夫したワークシートを活用した。また、イメージマップを取り入れ、ペア学習やグループ学習など伝え合う活動も積極的に取り入れてきた。また、実際の季節の葉っぱや木の実、活動時の写真などを使いながら、できるだけわかりやすく主体的に伝え、対話的な学びになるようにしてきた。

④板書と掲示物の工夫を意識する

校区の環境の良さに気付くと共に、四季折々の季節の変化を比べやすく、見てすぐわかるように掲示してきた。体験活動を振り返る際には、前時の学習を常に意識しながら本時の学びが深まるように、学習の足跡を残すなど掲示の工夫をした。板書では季節ごとの比較がしやすいように、また気付きの変化がわかるように、掲示物や写真などを生かすことを意識してきた。掲示では児童のつぶやきを取り入れながら、四季の変化がわかるような並びに工夫してきた。

2 単元目標

- ・秋の校区探検に出かけ、身近な自然と関わりながら遊ぶことを通して、四季折々の季節の良さに気付くことができる。
- ・体験活動を通して四季の変化に気付き、気付いたことや感じたことを楽しみながら表現し伝え合うことができる。

3 単元の評価規準

		生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分について の気付き
単元の評価規準		①秋の自然や季節の変化に関心を持って関わろうとしている。 ②秋の自然を利用した遊びに関心を持ち、みんなとの遊びを楽しもうとしている。	①四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることについて、自分なりに考え表現している。 ②身近な自然の中から遊びを考え、工夫している。	①春から秋になり自然の様子が変化したり、自分たちの生活の様子も変わったりしていることに気付いている。 ②身近な自然を利用して友達と遊ぶことを通して、伝え合い紹介し合うことの楽しさに気付いている。
学習活動（小単元）における評価規準	1		①春や夏の草花、生き物について、見つけてきた物を自分なりに表現している。	
	2	①秋の草花や木の実、虫などに興味を持ちそれらを観察したり遊んだりしようとしている。	②秋の草花や生き物を観察しそれらを使った遊びを考え、みんなで楽しく遊んでいる。 ①季節が秋に変わったことに気付き、見つけた秋について言葉や絵で表現している。	①春から秋になり自然の様子が変化したり、自分たちの生活の様子も変わったりしていることに気付いている。 ②友達の発言や成果物から更に知りたくなったことを見つけることができる。
	3	②持ち帰ったものを使って、自分のしたいことを、素直に表現しようとしている。	②秋の草花や生き物を観察しそれらを使った遊びを考え、みんなで楽しく遊んでいる。	②秋の自然物を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付いている。

4 単元計画（全14時間）

○学 習 活 動	指導や支援のポイント	評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> [単元1] 「こうたんけん」にしゅっぱつしよう。 (1時間) </div>		
○秋の校区探検について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を提示することで、春や夏の校区探検を想起させ、秋の探検への興味関心を持たせる。 ・思い出したことを主体的に発表できるように、教室内の掲示物にも目を向けさせる。 	【思考・表現】 ①春や夏の草花、生き物について、見つけてきた物を自分なりに表現している。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> [単元2] あきのすてきをしょうかいしよう (11時間) </div>		
○校区探検に出かけ季節の変化を感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲よく交流しながら活動する時間を十分に確保することで、積極的に秋見つけができるようにする。 	【関心・意欲・態度】 ①秋の草花や木、虫などに興味を持ち、それらを観察したり、木の実を集めそれらで遊んだりしようとしている。
○楽しい秋の遊びを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な遊び方に気付き活動している友達に目を向けさせることで、公園内の自然物や周りの自然を使って楽しく遊べることに気付かせる。 	【思考・表現】 ②秋の草花や生き物を観察しそれらを使った遊びを考え、みんなで楽しく遊んでいる。
○秋のすてきを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・校区探検の時の写真や持ち帰った実物を提示し、季節の変化とともに変わってきた回りの様子に気付かせ、お気に入りを紹介できるようにする。 	【気付き】 ①春から秋になり自然の様子が変化したり、自分達の生活の様子も変わったりしていることに気付いている。
○見つけた秋のすてきを紹介しよう。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> [本時] </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏と秋の公園の違いから、どんな秋を見つけたか、発表できるようにする。 ・成果物や活動の時の写真などを提示し今までの活動を想起できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を聞いて、自分自身の気付きの質を高めることができるように伝え合う時間を大事にする。 	【思考・表現】 ①季節が秋に変わったことに気付き、見つけた秋について言葉や絵で表現している。 【気付き】 ②友達の発言や成果物から更に知りたくなったことを見つけることができている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> [単元3] みんなであきをたのしみたいね。(2時間) </div>		
○秋の校区探検を振り返り、秋の「はっぱであそぼう」に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を活用したり、友達と交流させることで、集めた秋の自然物を使って作りたい物を表現できるようにイメージを持たせる。 	【関心・意欲・態度】 ②持ち帰ったものを使って、自分のしたいことを、素直に表現している。

5 本時の学習（12/14時間）

（1）目標

秋の校区探検を通して見つけたことを発表し合い、自分との関わりにおいて夏と違った秋の良さに気付くことができる。

（2）準備物

校区探検の時の写真・成果物・画用紙

（3）展開

学 習 活 動	子どもの意識の流れ	教師の支援及び留意点 (○)・と評価 (★)
<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <p>2. 夏と秋の違ったところを思い出す。</p> <p>3. どうしてだろうと、考える。</p> <p>4. 見つけた秋を作る。</p> <p>5. もっと知りたいことやもっとみたい物について発表する。</p>	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">夏の公園と違っていたね。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">見つけた秋を紹介しよう。</div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">葉っぱの色が少し違っていたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">夏より風が涼しいよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">落ち葉が増えていたね。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">茶色の葉っぱが多くなったね。顔みたいな葉っぱを見つけたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">木の下がひんやりしていたね。長袖になったもんね。汗をかかなくなったね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">落ち葉を使ったら、楽しい遊びができたよ。かさかさ音がして楽しかったね。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ドングリが茶色くなってたね。</div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">なぜ、葉っぱの色が変わったのかなあ。寒くなったからかなあ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">寒くなって木も元気がなくなってきたんじゃないかなあ。</div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">落ち葉を作りたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ドングリを作りたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">木の実もあつたよ。</div> </div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ドングリをもっとあつめたいな。 落ち葉が増えているのか見てみたいな。</div> </div>	<p>○これまでの探検の写真や掲示物を提示し、夏と秋の季節の違いに気付かせ意欲を高める。</p> <p>○成果物や自然物を使うことで、季節の変化に気付かせ思いの気付きを出させる。</p> <p>★春から秋になり自然の様子が変化したり、自分達の生活の様子も変わっていることに気付いている。</p> <p style="text-align: center;">【気付き】（発表）</p> <p>○友達が見つけた秋のすてきを知り、自身の気付きの質を高められるように、五感を意識させることができるように板書の工夫をする。</p> <p>★見つけた秋の様子を絵で表現しようとしている。【関心・意欲・態度】（成果物）</p> <p>○秋の良さで気付いたことを生かして、次時への気持ちを高める。</p>

6 板書計画

11/28(火) きせつはっけんまん

めあて: **あきのすてきをしょうがいしよう**

かせだろう?
・ごもくなた
・木のけんさがなくなた
・はばにえいようが
・木がねむたんじゃ

もっしりたいな。
・どんぐりをあめたいな。
・もしはどうなっているかな。
・はばいろいろはどつなろ。



はば ちいろ
さいろ
おちば
ふた
どくろ ちいろ

かさかさ
かぜのおと
バリバリ

ふわふわ
かたい

こすしずのにおい
花のにおい

さむいね。
「たれみたいなぐさだ」
「かさがなてる。」